

特定非営利活動法人 エコ・リンク・アソシエーション [鹿児島県推薦] (鹿児島県南さつま市)

<http://eco-link.jp/>

代表者名：下津 公一郎 団体構成員数：12名

エコ・リンク・アソシエーションは、平成16年に活動を開始した団体であり、鹿児島県のほぼ全域を活動エリアとし、青少年が農山漁村地域の家庭に宿泊しながら、自然、文化、人々との交流を通して、五感を鍛え、困難に立ち向かう忍耐力を身につけるとともに、優しい心と思いやりを育てる民泊型教育旅行（以下「民泊」という）活動を行っています。民泊の窓口として包括的なマネージメントを行い、修学旅行生を中心に、主に県外から年間約1万人の中・高校生等を受け入れています。

このような活動を通して、環境学習に関する事業に積極的に取り組み、次世代の担い手を育成しています。また、こうした諸活動は、鹿児島県薩摩半島地域のグリーンツーリズム振興においても中心的な役割を果たしています。

エコ・リンク・アソシエーションの活動の特徴である民泊（田舎の暮らし体験）では、参加者に自然・集団宿泊体験が提供されます。こうした体験を通じて、普段とは異なる学び・異世代間交流の機会となるとともに、過疎化の進む農山漁村の活性化が図られることから、青少年育成のみならず、地域コミュニティ活性化の観点からも、他地域の見本となる活動となっています。



農業体験の様子



農業体験の様子



見送りの様子

■選考委員のコメント

全国的に人口減少、地域の過疎化などの課題を抱える地域が多い中で、エコ・リンク・アソシエーションは豊かな自然を活用した体験を主とした民泊を実施してこられ、その活動が地域に定着しています。若者や地域を巻き込みながらコミュニティの活性化に大きく貢献している点が評価できます。

[受賞者からのひと言]

全国的に活発になった中・高校の修学旅行の農家民泊。修学旅行で一度お世話になった家庭との関係が、子供たちの心の中に第二の故郷ができた喜んで帰る。そんな田舎と都会の交流が生まれるのが、修学旅行の農家民泊です。バスから降りる多くの子供たちが不安な気持ちで民泊先と出会い、それから1日を過ごし、帰る

時にはもっと長く滞在したいとか帰りたいかの声を多く聞きます。

そんな、農家民泊を体験した子供たちが都会に帰ってつらいときには、民泊先のおじちゃんやおばちゃんに電話を入れる。こうした民泊先の代表として、今回の賞はみんなの励みになるものでした。



表彰状の授与